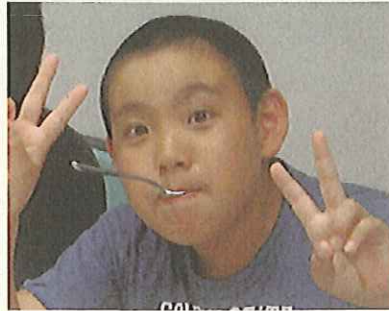


ひと ひと

女と男の情報紙

笑がお



孫の病気

2歳半の孫が川崎病にかかった。高熱が続き普通の解熱剤では熱は一向に下がらない。近所の小児科医の判断が早く「お母さん驚かないでくださいね。これは川崎病かもわかりません」といわれ、大きな病院に入院となった。入院には24時間付き添いが必要であるという。下には生後3か月の男の子がいるので、パパもママもお手上げとなり、お互いの両親にヘルプが入った。

そのとき私は北京にいた。国際電話をもらって、観光気分は一気に消え失せ、心に重しがかかってしまった。大丈夫なんだろうか？今も川崎病の原因は不明であり対処療法しかないと聞いたことがある。心臓の冠動脈にこぶができてしまうと、今後の成長期にも問題があるという。様々な不安がうかび…そして消えていく…。一刻も早く帰りたい。しかしツアーは始まったばかり。世界遺産の万里の長城も頤和園もかすんでいく。孫と同じぐらいの子供が元気に走っているのを見ると目に涙がにじんでしまう。

旅からもどり、病院に駆けつけると、小さな左手は点滴の針を抜かせないためであろうか添え木で固定され細い管が繋がっていた。しかし私を見て「ばば！抱っこ」と言ってくれた彼女の顔には、いつもどおりのかわいい笑顔が輝いていた。彼女を抱き上げながら、その笑顔が普段の何十倍も私の心を癒やしてくれることに気付かされた。

彼女の川崎病は、現在様々な危険数値を順調に下げ、もう少ししたら退院の話も出てきそうである。命の重さをあらためて感じた日々だった。

みんなが笑顔でいられるために……………

みんなが笑顔になる街づくり・地域づくりを

一緒に考えていきませんか？

イキイキ笑顔人

自分らしく
輝いている人見つけた！



ファイルNo21: 遠藤 剛さん 32歳

神奈川県出身。団体職員。2008年より吉川市在住。

妻、3歳の長男、2歳の長女の4人家族。

趣味はガーデニング、他。

楽しくて貴重な朝の育児時間

平日は毎朝、2人の子どもを自転車で保育園へ送ってから出勤しています。帰宅が夜遅いので、子ども達と過ごす時間は朝だけになります。妻は子どもたちが起きる頃に仕事に出てしまいますから、朝の育児は私だけであることが多いですね。時にはグズったりして、ご飯を食べさせたり着替えさせたりするのに焦ることがありますが、逆にがっちり子どもと接することができて、この時間が自分にとってはすごく貴重で楽しい時間です。共働きならではって感じですね。

通園の道すがら、花屋さんの店先にいつも出ている大きなクマのぬいぐるみの姿が見えないと、「クマさん、まだねんねしてるね〜」と言う姿が可愛くてたまらない。完全に親バカです。

もっと子ども達と一緒にいたい

育児に積極的に参加するようになったのは、妻が2人目の子どもの育児休暇が終わって職場復帰した時からです。それまでは、私自身が保育園にも行ったことがなかったですし、一人で子ども達の面倒を見る機会もほとんどなかったですからね。

育児をするようになって、自分の考えや感じ方にも変化が生まれました。それまでは、妻から「今日、タックンが一人で靴下をはけたのよ」といったことを聞かされ

我が子の笑顔と成長を 毎日見られるから “イクメン”は楽しい！

自分らしく輝いている人の笑顔っていいな……。

育児に積極的に関わる男性が“イクメン”と呼ばれています。幼児2人の父親として“イクメン”デビュー以来、「子育ての楽しさ」を実感する機会が増えたという遠藤剛さんに、イキイキ「笑顔」のわけを語ってもらいました。

でも、妻の喜んでいる意味がピンと来なくて、「自分は見てない」という感じになっていました。

でも今は、子どもと一緒にいる時間が増えて、成長の過程をつぶさに見続けられるようになりました。子どもたちの成長ぶりに、妻と共に感動や驚きを感じる毎日を過ごしています。それってすごく幸せなことですよ。だから、「もっと子ども達と接していきたい」という気持ちにもなるのだと思います。



「パパ大好き！」
拓翔ちゃん(三歳)と美桜ちゃん(二歳)

子育てで大切にしたいこと

子ども達との向かい合い方で心していることは、子ども達が何かしたいと言った時や何か間違いをした時に、すぐに「ダメッ」て怒ったりしないようにしています。よく街中で大きな声で怒鳴ってる親の姿を見かけますよね。もちろん怒ることも必要ですが、怒鳴ってばかりいると子供が何するにも親の様子を伺うようになっていたり、何で怒られてるのかも分からなくなってしまいます。以外と親の勘違いで怒鳴ってしまっていることもあるんです。育児ではイライラすることも沢山ありますが、ちゃんとダメな理由を説明したり、「こうしたほうがいいでしょう」と、教えてあげたりすることを意識しています。

“イクメン” 増加中

私の友人たちでも、今は育児に積極的に参加する男性が多いですね。男性同士で育児についての会話をすることで、独身時代には想像もしていませんでした(笑)。

私だけで子どもと外出することもよくあります。先日、職場の同僚と子連れ同志で休日と一緒に過ごしました。お互いの奥さんが出かけていて子どもを見ていたので、遊ばせやすいショッピングモールで待ち合わせをしました。子ども4人にパパ2人。しかも子どもは全員3歳以下。さすがに目立ちましたけど…(笑)。

これからのパパ・ママたちへ

共働きであってもそうでなくても、周りに影響されすぎないほうがいいと思います。参考にするのはいい事ですが、各家庭で環境が違うのですから。誰々さんの家はこんなに育児してくれているのにと、特にママさん側か

らのそういう不満が出てくると思います。

各家庭にあった育児のあり方をきちんと話し合っ、その都度変えていけばいいと思います。男性の方は特に慣れない事ばかりなので失敗も多いし、それを何で出来ないのとか言われるとマイナス効果です。男性も一通りの事が出来るようになると余裕が出来るので、子供の成長や育児の楽しさを感じとれるようになって育児にも積極的になると思います。ママさん達はそれまでは少し辛抱してあげて下さい。

とにかく育児は大変な事も多いですが、楽しさも沢山あります。慣れてしまえば楽しさのほうが多いです。今まででは得ることの出来なかった楽しさや幸せが沢山待っているの、これからパパやママになる方は楽しみにしてして下さい。



「休日は家族4人で一緒に思いっきり遊ぶことにしています」と遠藤さん。

イベントに イクメンが 大集合!

八月二十五日(土)、子育てサロン
ふぁみりんぐにて、「めざせーイク
メン! お父さんも一緒に遊ぼう♪」
が開催され、たくさんのイクメンが集
まり、「カプラ」という、さまざま
形に作り出せる積木を使い、子ども達
と楽しく遊びました。

会場となったコッコロショッピングセンター内 コッコロ

の森は、買い物中、親子でホッと一息つける子育てサロン。

お母さんだけでなく、お父さんもぜひ、お気軽にお越し

ください。サロン開催日は

<http://farming.kids>

cocoan.jp をご覧ください。

問合せ コッコロの森

電話 048-940-

2810



イクメンの活躍には.. ワーク・ライフ・バランス

本号では、イクメン = 育児を積極的に率先して行う男性 について、特集しました。

少しずつイクメンが増える一方で、こんなデータがあります。

右図は、6歳未満児のいる夫の1日当たりの家事・育児関連時間です。

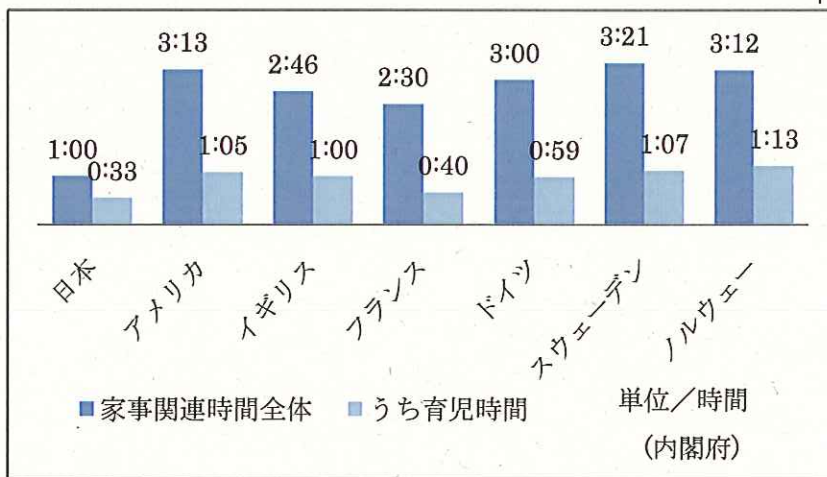
日本は、非常に少ない状況が分かります。

しかし、中には、「子供と一緒に過ごしたいけど、仕事に追われ、時間がない」という男性も多いのではないのでしょうか。

イクメンが活躍するには、「男性の長時間労働」を見直す必要があり、その解決は、個人だけではできません。

個人も、家庭も、企業も、社会全体で、固定的な性別役割分担意識の解消を図りながら、「ワーク・ライフ・バランス※」を見直すことが重要といえます。

※「ワーク・ライフ・バランス」とは、「仕事と生活の調和」と訳され、仕事と家庭生活、地域活動等について、自分が望むように調和をはかること



募集しています!!

- この情報紙「笑がお」作成に参加して頂ける方を募集しています。
- この情報紙「笑がお」に掲載する「笑顔」の写真も募集中です。

いずれも、下記あてにお気軽にお問い合わせください。

発行 笑がおの会・吉川市

※「笑がおの会」は、吉川市男女共同参画推進市民会議OBの活動から生まれました。

問合せ 吉川市 市民参加推進課 男女共同参画・文化交流担当

〒342-8501 埼玉県吉川市吉川 2-1-1

☎048(982)9685 FAX048(981)5682 ✉yoshikawa-mail@city.yoshikawa.saitama.jp

※題字については、檜垣民子さんのご協力をいただきました。